

# ～ソーラーシェアリングは 質と量を同時に伸ばし主力時代へ～

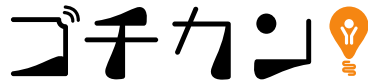
2026.1.30 自然エネルギー財団シンポジウム  
実践者が語る、ソーラーシェアリングの価値  
事例発表

こんどう けい  
近藤 恵

写真提供 朝日新聞



二本松営農ソーラー  
&  
Sunshine



二本松ご当地エネルギーを  
みんなで考える株式会社

# 運営発電所模式図

野立て太陽光発電所（9ヶ所）

2020～2022年

営農型太陽光発電所（11ヶ所）

2020年～

単独所有

藤棚式営農ソーラー（2ヶ所）

2020年

二本松市民A,Bが耕作

垂直営農ソーラー（2ヶ所）

2022, 2024年

二本松市民Cが耕作

回転直立営農ソーラー（3ヶ所）

2024, 2025年

福島市民A,B,Cと  
Sunshineが耕作

垂直営農フェンスソーラー（1ヶ所）

2025年

営農可動式ソーラー（1ヶ所）

2025年



共同所有（みやぎ生協・ISEP）4 MW

2021年

二本松市内農業法人Sunshineが耕作

共同所有（二本松有機農業研究会）農家自家消費PPA（1ヶ所）

2026年5月竣工予定  
二本松市民Eが耕作

## ゴチカン発電所外観図

太陽光発電設備 5MW

○既設

低圧15基（営農型6基うち2基は垂直ソーラー、うち2基は公共用地に設置）

低圧39基（営農型・みやぎ生協、ISEPと共同運営）

○新設

2024年度 低圧Non-FIT 営農型 3基

14.回転直立第2発電所

13.回転直立第1発電所



二本松営農ソーラー

15.垂直東西向き

8.垂直南北向き

11.木幡字西和代発電所

6.伊佐沼野立

12.針道字上荒井発電所

2.太田 s s 発電所

5.旧北戸沢発電所

7.小浜字芳池発電所

4.旧上太田小発電所

10.錦町二丁目第八発電所

1.錦町第一発電所

9.錦町二丁目第五発電所

# ゴチカン



はな ぽつ ちゅう ぎ  
二本松ご当地エネルギーを  
みんなで考える株式会社



10 km

「Sunshine の地図」は、農業法人株式会社 Sunshine の今までとこれからの歩みを記しています（以下「Sunshine」と略）。Sunshine は、二本松営農ソーラー株式会社と双子の関係にあり、営農型太陽光発電のモデルケースとなるように未来を目指してひた走っています。

この二つの会社ができる前から、有機農業、協同組合、再生可能エネルギーの民主化の歴史は始まっていました。Sunshine と二本松営農ソーラーは、その希望に満ちた働きをつなぎ増幅する者として、農業とエネルギーが融合した新しい事業を、育くみ広めていきたいと願っています。「Sunshine の地図」では、有機農業者の先駆者：大内信一さんが蒔いた種、再生可能エネルギーの先駆者：飯田哲也さんが蒔いた種、協同組合の先駆者：みやぎ生協・コープふくしまさんが蒔いた種がぐんぐんと育っている様子をご覧いただけることでしよう。

2011年の東日本大震災から今日まで願ってきたのは、「怒りではなく、感謝と喜びの汗をかきたい」でした。いま、漸くそのスタート地点に立っていると感じます。

ぜひこの小さな地図を手にとって、Sunshine の目指す、新しいスタイルの農場を見てください。ここで、学び、創造している塚田晴さんや菅野雄貴さんの姿を、そして彼らに続くエネルギーと農業のダブル生産をスタンダードとする農業者たちが、各々の「故郷」で活躍する『未来の地図』を想像してみてください。

二本松営農ソーラー株式会社／株式会社 Sunshine

代表取締役 近藤 恵

⑤大豆

⑥人参

⑦小麦

①ブドウ

②エゴマ

③イエローマスタート

④ソバ

⑨ソーラー設備

⑧牛放牧



二本松営農ソーラー  
&  
Sunshine

# 共同事業者



二本松ご当地エネルギーを  
みんなで考える株式会社

## 二本松ご当地エネルギーをみんなで考える株式会社（共同事業者）

2018年に市民有志5名によって設立。現在までに野立て太陽光発電所11か所、営農型太陽光発電所を11か所運営している。日本で初めての垂直営農ソーラーを2022年3月に設置した他、社債発行により市民・企業からの資金調達をすすめるなど、営農ソーラーのイノベーターとして積極的に活動している。



## 株式会社Sunshine（共同事業者）

2019年設立。二本松営農ソーラー株式会社が運営する営農型発電所のもとで、営農を行う農業法人。営農型太陽光発電所の畑では、シャインマスカットなどのブドウや有機ゴマ、グラスフェッドビーフの自然放牧を行い、学生インターンシップや県外からの営農サポーターの受け入れも行っている。



## みやぎ生活協同組合（共同事業者）

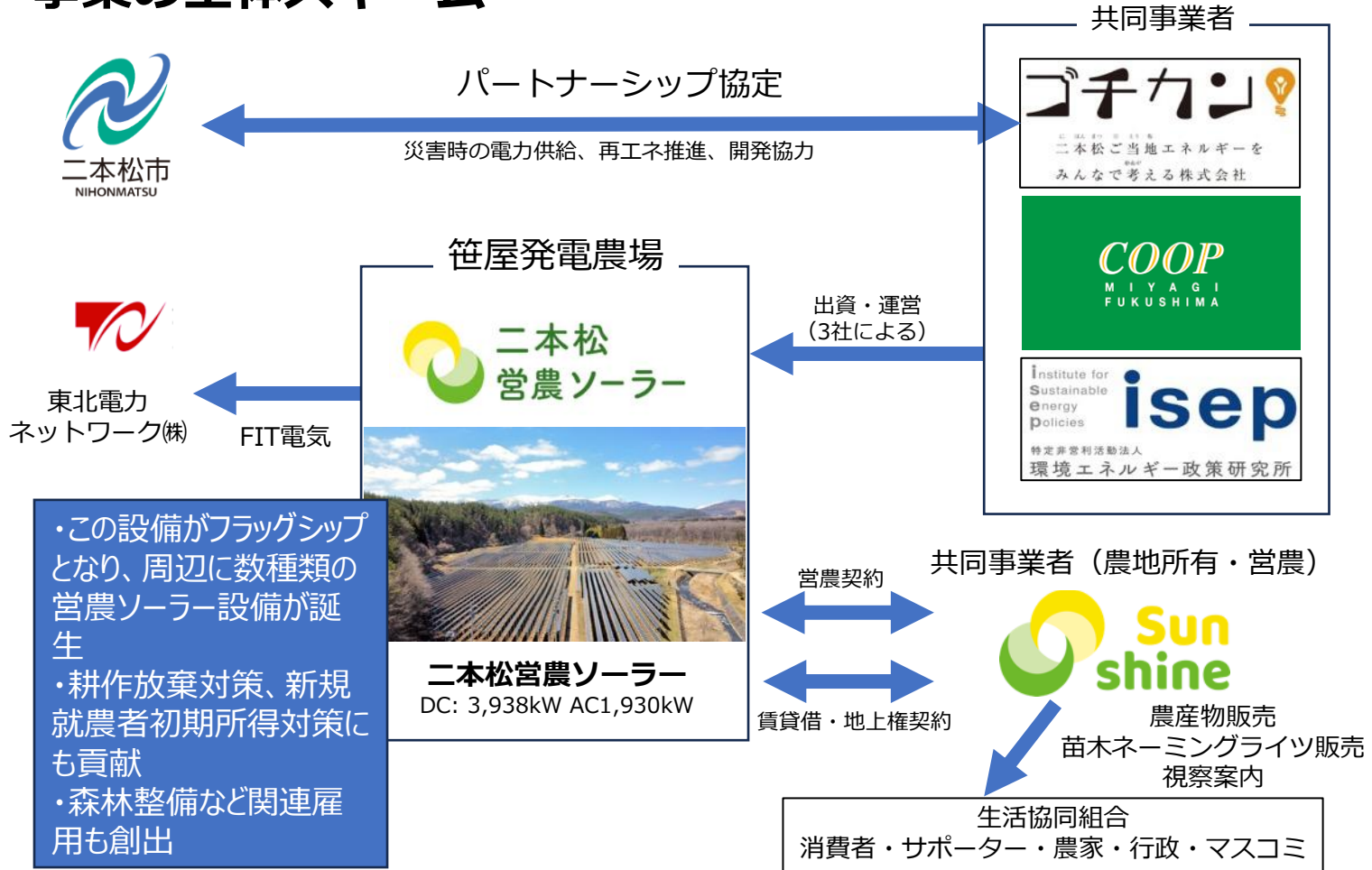
1982年設立。宮城県仙台市に本部を置く、購買・共済・子育て・環境など多岐にわたる事業を展開する生活協同組合。近年では、取り組みの一環として再生可能エネルギー発電所に出資又は融資を行い、その再生電力を調達・購入し、みやぎ生協の事業所で使用することでRE100（CO<sub>2</sub>排出ゼロ）の推進を目指している。



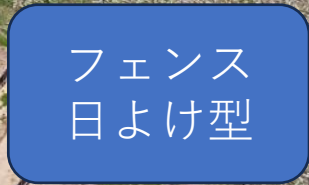
## 特定非営利活動法人環境エネルギー政策研究所（共同事業者）

持続可能なエネルギー政策の実現を目的として、政府や産業界から独立した第三者機関として2000年9月に設立された。震災前から全国各地の地域主導の再生可能エネルギー事業をサポートしている。今回の営農ソーラーにおいても、これまでの知見を活かし、開発のコンサルティングに携わった。

# 事業の全体スキーム



# 様々な種類のソーラーシェアリング



# エネルギー地産地消の経営

## 地消

- ・ 電気の地消まで到達していない。
- ・ RE100企業とPPA契約を締結

## RICOH みんな電力ゴチカン💡

プレスリリース 2025年5月1日 11時

ゴチカン、リコー本社と垂直営農フェンス&木陰ソーラーと  
可動式営農ソーラーでオフサイト PPA を開始

二本松ご当地エネルギーをみんなで考える株式会社（略称ゴチカン 代表取締役 近藤 恵）は、株式会社リコー（社長執行役員：大山 晃、以下 リコー）、株式会社 UPDATER（代表取締役社長 大石英司、以下 UPDATER）とともに、地域社会に貢献する取り組みとして、営農型オフサイト PPA を開始しました。リコーは本社事業所の電力の一部を、グループ初となる営農型オフサイト PPA 発電所からの再エネ電力に切り替えます。

### 本件の背景

自然共生・地域共生型の営農型太陽光発電（ソーラーシェアリングとも呼ばれる）は、日本の脱炭素社会の実現に向けて大きな可能性が期待されています。今回、リコー向けに再エネ電力を供給する発電所2基は、耕作放棄地を活用し、地元農家（二本松営農ソーラー株式



マッチング結果

レポート

ログアウト

二本松ご当地エネルギーをみんなで考える株式会社 近藤 恵さま

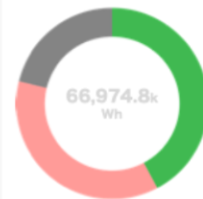
発電所全体結果

年別

月別・日別

発電所全体結果

2025年 発電量  
66,974.8 kWh



リコー\_本社 3L  
リコー\_本社 1号館  
非固定費発生場所





# 陽なたのファームズ

映画『陽なたのファームズ』 2025.9.6より全国で公開  
2026.1.5より自主上映開始 <https://hinata-movie.com>





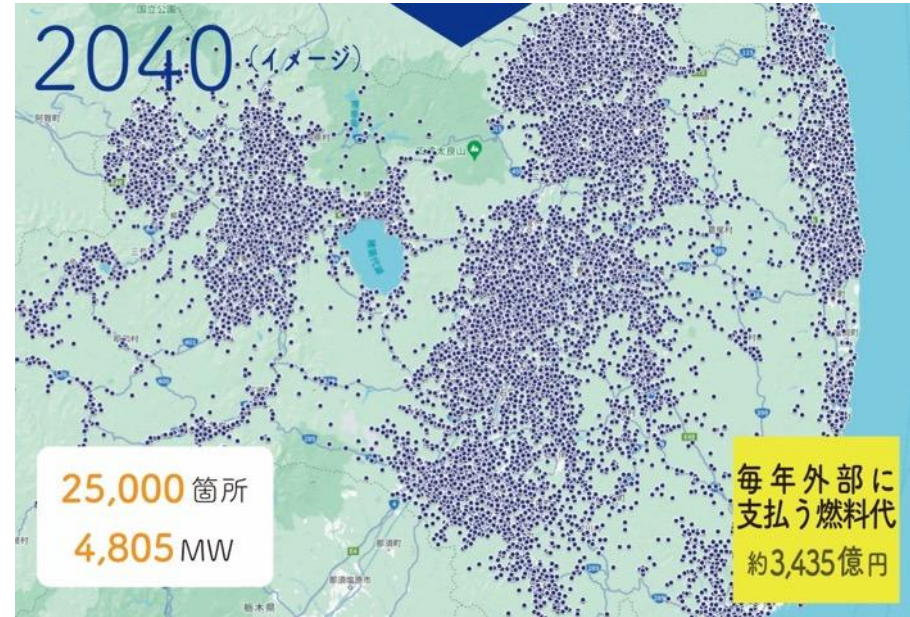




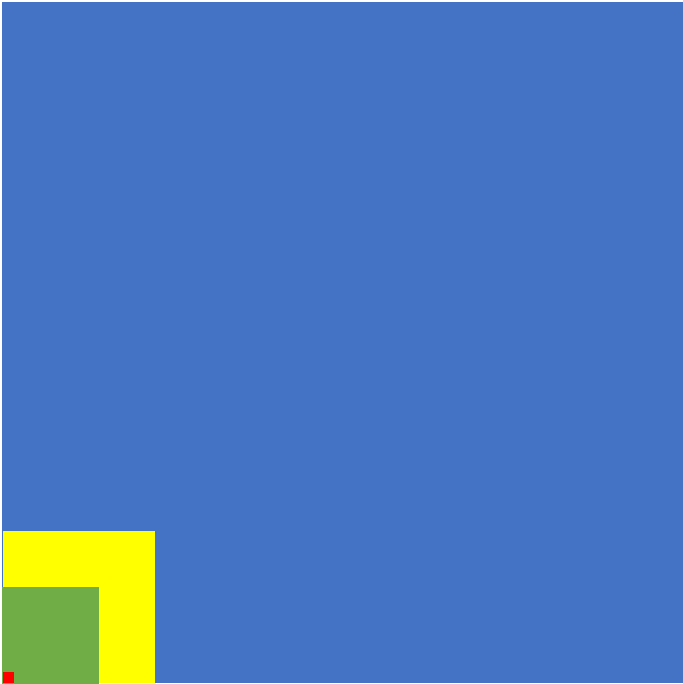
# ぶどう棚の下で話すこと

- 1 ・ 新規就農者の所得補助になること (後継者育成費)
- 2 ・ 適度な日陰 < 25 - 45 % の遮光率 > が  
農作物、家畜に好影響を与えること (感覚値大事)
- 3 ・ 農業施設の初期投資が抑えられること  
200万円 / 10a → 50万円 / 10a (1/4)

# 福島県のソーラーシェアリングの実績と将来像



福島県の農家の3件に1件がソーラーシェアリングに取り組み、県の農地全体の5%をソーラーシェアリングにすれば県内電気需要の30~40%が賄えるようになります。



福島県の農地面積 : 137,300ha

現在のAPV面積 : 37ha(0.024%)

将来のAPV面積 : 6,865ha(5%)

農業ハウス面積 : 2,746ha(2%)



ソーラーシェアリングは  
質と量を同時に伸ばし主力時代へ

